

テスト 31

次の日本語にあうように()に適する英語を入れなさい。

- 301 ① 起きる () ()
 □ ② 私は、毎朝 6 時に起きる。 I () () at six every morning.
- 302 ① ~に着く () () ~
 □ ② 私たちは、ついにその頂上に着いた。
 We () () the top at last.
- 303 ① ~を降りる () () ~
 □ ② 彼は、バスを降りた。 He () () the bus.
- 304 ① (バスや電車など)に乗る () () ~
 □ ② 私は、天王寺で電車に乗った。
 I () () the train at Tennoji.
- 305 ① 降りる/外へ出る/～を取り出す () () ~
 □ ② 友子は、えんぴつを取り出しました。
 Tomoko () () a pencil.
- 306 ① (車やタクシーなど)に乗る () ()
 □ ② 私たちは、すぐに車に乗った。
 We () () the car at once.
- 307 ① ~に入る () () ~
 □ ② 私は、その家に入ることができなかった。
 I could not () () the house.
- 308 ① (病気が)よくなる/回復する/元気になる () ()
 □ ② それで、彼女はすぐによくなった。 So she () () soon.
- 309 ① (~に)怒る/腹を立てる () () ((~))
 □ ② 彼女は、私に腹を立てた。 She () () () me.
- 310 ① 帰宅する (t) ()
 □ ② できるだけ早く、あなたは帰宅しなければならない。
 You have to (t) () as soon as you can.

テスト 31 解答

301 ① get up ② get up
 302 ① get to ② got to
 303 ① get off ② got off
 304 ① get on ② got on
 305 ① get out ② got out

306 ① get in ② got in
 307 ① get into ② get into
 308 ① get well ② got well
 309 ① get angry with ② got angry with
 310 ① get home ② got home

さらに get が続きます。がんばりましょう。

311 get better (前よりも)もっとよくなる
 I think you will get better soon. (あなたはすぐに、もっとよくなると私は思います。)

better は good や well の比較級で「もっとよい/もっとよく」の意味です。これと get がつながって「もっとよい状態を得る」、つまり「もっとよくなる」となります。

312 get back (to ~) (~に)戻る/～を取り戻す
 When did he get back to his house? (彼は、いつ家に戻ってきたのですか。)

ここでの back は「戻って、元へ」などの意味です。これと get が結びついて「元に戻った状態を得る」という意味から「戻る/～を取り戻す」という意味になります。

313 get along (with ~) 何とかやっていく/暮らす/(~と)仲よくやっていく
 She can get along with everybody.
 (彼女はみんなと仲よくやっていくことができる。)

〈along ~〉は「～に沿って」が基本ですが、「(道など)に沿って」という意味だけではなく「(方針や方向)に沿って/したがって」という意味もあり、そこから「うまくやっていく/仲よくやっていく」などの意味にもなります。あとに人などがくるときは「～といっしょに」が基本の with がきます。だいだいわかりやすいですね。

314 get ready 用意をする/準備をする
 We have to get ready for the party.
 (私たちはパーティーの用意をしなければならない。)

ready は形容詞で「用意ができた/準備ができた」という意味です。これと get がつながって「用意ができた状態を得る」つまり「用意をする」となります。わかりやすいですね。ただ、次のようにあとに名詞がくるか、動詞がくるかでちがいがありますので気をつけましょう。

get ready for + 名詞 ~の用意をする
 get ready to + 動詞の原形 ~する用意をする

また、すでに「～の用意ができていいる」と状態をいうときは〈be ready for ~〉になることもあわせて覚えておきましょう。

315 get together 集まる
 Let's get together tomorrow. (じゃあ、また明日集まりましょう。)

together は「ともに/いっしょに」の意味です。それと get がつながって「いっしょの状態を得る」ですから「集まる」。理解しやすいですね。

テスト 48

次の日本語にあうように()に適する英語を入れなさい。

- 471 ① 日記をつけている () () ()
 □ ② 彼女は日記をつけています。 She () () () .
- 472 ① ~し続ける (k) () ()
 □ ② 彼女は、その間ずっと笑い続けた。
 She (k) () () all the time.
- 473 ① ~を笑う / ~をあざ笑う () () ~
 □ ② 私たちは、彼の冗談を笑った。 We () () his joke.
- 474 ① ~について学ぶ () () ~
 □ ② トムは、日本の歴史について学びたかった。
 Tom wanted to () () Japanese history.
- 475 ① ~するようになる () () ~
 □ ② その少年は、すぐにテニスができるようになるでしょう。
 The boy will () () play tennis soon.
- 476 ① ~へ出発する / ~へ出かける () () ~
 □ ② 私は来週、東京に出発する予定です。
 I will () () Tokyo next week.
- 477 ① 家を出る () ()
 □ ② 彼女は、7時に家を出た。 She () () at seven.
- 478 ① ~を置き忘れる / あとに残す () () ~
 □ ② 彼は昨日、カバンを置き忘れた。
 He () his bag () yesterday.
- 479 ① 横になる / 横たわる () ()
 □ ② 横になって楽にしてください。
 () () and make yourself comfortable.
- 480 ① ~を聞く () () ~
 □ ② 私たちは昨日、ラジオを聞いた。
 We () () the radio yesterday.

テスト 48 解答

- 471 ① keep a diary ② keeps a diary
 472 ① keep on ~ing ② kept on laughing
 473 ① laugh at ② laughed at
 474 ① learn about ② learn about
 475 ① learn to ② learn to
 476 ① leave for ② leave for
 477 ① leave home ② left home
 478 ① leave behind ② left behind
 479 ① lie down ② Lie down
 480 ① listen to ② listened to

さらにいろいろ出てきて大変ですが、ここが苦しいところ。我慢のしどころです。がんばって進みましょう。

481 live in ~ ~に住む
Many Americans live in Kyoto. (たくさんのアメリカ人が京都に住んでいる。)

live は「住む」の意味だけで「~に」までは含みませんので、それにあたる in が必要なことを覚えておきましょう。

482 live on ~ ~を常食(主食)とする / ~で生活費をまかなう
They live on rice and fish. (彼らは、米と魚を主食にしています。)

live は「生きる / 暮らす」です。on の基本は「接触」ですが、何かの上に乗っている状態も接触していますから on を使います。この場合、下のものを土台にして、つまりそれを「よりどころにして / 頼って」といった意味にも広がります。こうした on と live がつながった表現です。

483 lose one's way 道に迷う
I thought I lost my way. (道に迷っていると私は思った。)

lose は「~を失う」、所有格をともなった〈one's way〉は「~の道」。直訳では「~の道を失う」。これを日本語らしくすると「道に迷う」となります。この英語の感覚に注意しましょう。

484 lose oneself 道に迷う
We lost ourselves on our way back home.
 (私たちは、家に帰る途中で道に迷った。)

lose は「~を失う / なくす」、oneself は「~自身」。文字どおり訳せば「自分自身を失う」ですが、これがなぜ「道に迷う」になるのか。実は〈lose oneself〉には「夢中になる / ~に没頭する」という意味もあります。これは「自分自身を失う」つまり「我を忘れる」とも考えられます。そこで、道に迷っている状況を思い出すと、待ち合わせの時間などがせまっている場合には、とてもあせって困ってどうしていいかわからず道を探すのに「我を忘れる」状態になる場合もありますね。そうしたことから、こういう表現になっているのではないのでしょうか。理解の一助にしてください。また、同じ意味の表現に〈get lost〉「道に迷う」もありますので、覚えておきましょう。

485 manage to ~ ~をどうにかやり遂げる / やつとのことでする
He managed to write the answer. (彼は、やつとのことですその答えを書いた。)

manage はもともと「馬を上手に扱う」という意味でしたが、そこから比喩的に「(人や道具)を操る」「(事業など)を管理する、経営する」また、「(問題など)を処理する」そして「~をどうにかやり遂げる」などの意味に広がりました。だいたい理解できますね。to のあとは動詞の原形がくることに注意してください。